

# 主要事業個別シート(第2次実施計画/H27・28年度)

ver.1.01

① 基本事項	計画コード	26001	事業名	道路新設改良事業(久我福德線)	部名	建設部	
	実施基本	基本施策の大綱	01:快適な都市空間の創造	室名	道路整備室	会計	01:一般会計
	体系	基本施策	09:道路網の整備	科目	08:土木費	項目	02:道路橋梁費
	系	施策の方向	03:道路の安全性と防災機能の向上	目	03:道路新設改良費		
		戦略プロジェクト	-				
		事業予定期間	H 26 ~ H 27 年度	主な根拠法令要綱等	道路法、道路構造令		

② 目的・概要	対象	市民、来訪者、通過車両
	目的	市道久我福德線は関町福德と関町久我を結ぶアクセス道路であるが、現況幅員が狭小なうえ屈曲して視距が悪いため、円滑な通行や緊急車両の進入に支障をきたしている。また並行して走る名阪国道の渋滞時には、渋滞を回避する大型車両が進入し、地域住民にとって大変危険な状態となっている。このことから現道を拡幅し視距を改良して地域の防災安全性と生活利便性の向上を図るものである。
概要	概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画延長 L=280m</li> <li>幅員 5m(3種5級)</li> </ul>

		平成27年度	平成28年度			
③ 年度別事業計画	工事(L=130m)					
	計画額	事業費	27,600千円			
		国庫支出金	15,180千円			
		県支出金				
		地方債				
		その他				
		一般財源	12,420千円	0千円		
	予算額	事業費	19,500千円			
		国庫支出金	10,725千円			
県支出金						
地方債						
その他						
一般財源		8,775千円	0千円			
期間内総事業費(H27・H28)①		27,600千円	期間外事業費(H29以降)②	0千円	総事業費(①+②)	27,600千円

				平成27年度	平成28年度	(参考・平成29年度)	
④ 指標	①	名称	整備進捗率	活動	計画値	100	
		補足	実施済み事業費/総事業費		単位	%	
	②	名称			計画値		
		補足			単位		
	③	名称			計画値		
		補足			単位		
	④	名称			計画値		
		補足			単位		

# 事務事業評価シート

H27(主要事業)

① 基本事項	計画コード	事業名	部名	建設部
	26001	道路新設改良事業(久我福德線)	室名	道路整備室
	基本施策の大綱	01:快適な都市空間の創造	財	会計 01:一般会計
	基本施策	09:道路網の整備	務	款 08:土木費
施策の方向	03:道路の安全性と防災機能の向上	科	項 02:道路橋梁費	
戦略プロジェクト	-	目	目 03:道路新設改良費	

② 目的・概要	対象	市民、来訪者、通過車両
	目的	市道久我福德線は関町福德と関町久我を結ぶアクセス道路であるが、現況幅員が狭小なうえ屈曲して視距が悪いため、円滑な通行や緊急車両の進入に支障をきたしている。また並行して走る名阪国道の渋滞時には、渋滞を回避する大型車両が進入し、地域住民にとって大変危険な状態となっている。このことから現道を拡幅し視距を改良して地域の防災安全性と生活利便性の向上を図るものである。
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画延長 L=280m</li> <li>幅員 5m(3種5級)</li> </ul>	

		27年度	28年度
①	名称	整備進捗率	計画値 100
	補足	実施済み事業費/総事業費	実績値 100
			単位 %
②	名称		計画値
	補足		実績値
			単位
③	名称		計画値
	補足		実績値
			単位
④	名称		計画値
	補足		実績値
			単位

年度計画				年度実績				
工事(L=130m)				工事(L=130m)				
④ 事業の計画・実績	事業費		計画額	予算額	決算額	総人件費 ①	910	
		事業費	27,600	19,500	19,274	一般職員人件費 ②	910	平均給与額×③
		国庫支出金	15,180	10,725	10,601	所要人員 ③	0.12	
		県支出金		0		臨時職員人件費 ④	0	
		地方債		0		受益者負担額 ⑤		
		その他		0		受益者負担率	0.0%	⑤ / ⑥
		一般財源	12,420	8,775	8,673			
		再	翌年度への繰越額		0			
		掲	前年度からの繰越額		0	18,327		
			総人件費		①	910		
	総コスト		⑥	20,184				

⑤ 事業の評価	【事業の成果】	平成26年度より進めてきました延長L=280mの視距改良及び道路拡幅事業が平成27年度に完成したことにより、当該区間の安全性が向上した。	総合判定
			<b>A</b>
			順調に進んだ
	【反省点・課題】	今回の事業は地元要望で進められ、地域全体としては理解を得られていても、詳細な計画段階では、住民個々の理解が得られるまでに時間を要した。	
	【改善の方向性】	地域全体の理解を得、個々の理解も得られるよう丁寧な説明を行い、個々の同意書ももらいながら進めて行く。	
	事業目的の妥当性: 適切	有効性: 適切	最終評価確認者: 道路整備室長 服部 政徳